

## ともに輝く 女と男



**共同保育所「ひだまり」代表 会津 正子さん、保育所の様子をお聞きしました。**  
(会津さんは、平成10年に青森県女性海外派遣事業でノルウェー・デンマークを訪問されています。)

Q 玄関の鬼の面は子どもたちの作品ですか（節分用のお面が飾ってありました）

A 数種類の色の中から、例えば赤い服を持っているので赤にするというように、子どもたちがおしゃべりをしながらイメージをふくらませて、自分なりに好きな色を選んで作りました。女の子だから赤に…とかじゃないですね、子どもたちは。

Q 保育園で、男女共同参画を感じること何かありますか

A 何をするにも一緒です。遊びも、お片づけ、お掃除、お皿洗いも「女の子だから」とか分けていません。子どもたちが「うちのお父さん、昨日」「飯作ってくれた」とか「掃除機をかけてる」とか言うので「なんだ、お父さんするんだ。すごいねエ」と言葉と、とつでもうれしそうな顔をするんです。「保育園＝お母さん」というイメージがあるのですが、今はどこでもそうだと思いますが、お父さんの送り迎えも多いし、行事などに参加してくださるお父さんが多いです。「子どもが小さいちはお母さん」じゃなくお父さんとも子どもの話を出来るようにしています。

Q 海外研修のお話を少し

A 当時は男女共同参画とか全然知らないまま行つたんですが、今でも印象に残っていることは、職業別に労働組合が有り、そこにはパートの人もはいれて、支援してくれている。育児休業など、あつても取りづらい環境にまだある日本と比べるとうらやましい限りです。

Q 本當は、子どもが小さいちは母親に限らず父親もそばにいて抱きしめてあげて、「大好きだよ」と言つてあげて欲しい。

A 子育て中のお父さん、お母さんにエールを

A 先程も言いましたが、いっぱい好きだよ」と言つてあげて下さい。「大好きだよ」と言つてあげて下さい。子育てに自信が無い方、一人で悩まず話しくてください。子育て支援センター（※）もあります。自由、自由と言つてわがままにしているのではないでしようか。子どもが要求する前から手助けしている気がします。手をかけるより目をかけて欲しいですね。そして善し悪しを教えて、抱きしめてあげて、認めてあげて下さい。

Q 一人で頑張らずに、みんなで子育てをしましょう！

※地域子育て支援センター：かねざき保育園子育て支援センター

十和田めぐみ保育園子育て支援センター  
豊ヶ岡保育所子育て支援センター  
小さな森保育園子育て支援センター・どうんこ

データ  
**Data**

資料：「十和田市男女共同参画に関する意識調査」平成11年12月

生活時間（家事・余暇・育児時間）

